



佐野厚生農業協同組合連合会

地域医療支援病院 佐野厚生総合病院 地域医療連携室たより



病院長 村上円人

連携医療機関の皆様、こんにちは。病院長の村上でございます。

日本はコロナ禍の第3の波の渦中で新年を迎えました。当院は昨年2月から1年間にわたり、感染症指定医療機関として100%以上の力で走り続け、まさに200%の担当スタッフの頑張りが続き、その疲労は危険域に達しております。市内の入院待機患者が増加しコロナ禍は長期戦に突入しクラスターが散見されております。当院においても1月21日に事務職員の感染が1名判明しましたが、即日院内検査を接触者全員に施行し、全員陰性を確認し通常診療を継続としております。さらに1月28日には精神科閉鎖病棟でクラスターが発生しました。検査科の頑張りがあり総数209件の遺伝子検査を施行し（院内検査177件）、2月1日10時の状況は感染範囲は当該病棟内に限局しております。精神科外来制限とリハビリ休止以外は通常診療を継続としております。今後、クラスター収束をめざして安足健康福祉センターのご指導のもと、職員一丸となって頑張っております。

当院のDMAT指定病院の活動に対して、1月に佐野市消防本部から救急車の譲渡が正式に決まり納車待ちです。今後も佐野市消防のご指導のもと災害医療に貢献できるよう訓練を重ねてまいります。

今年は、連携医療機関の先生方と力を合わせて、佐野市の急性期医療（5疾病5事業）とコロナ診療の両立をめざし、体制強化に取り組んでまいります。宜しくお申し上げます。

【対応時間】

地域医療連携室

- ・ 月曜～金曜 8:30～19:00 0283-22-5222 (代表)
- ・ 第1・3・5土曜 8:30～12:45

FAX 0283-22-8982

E-mail: renkei@jasanoko.or.jp<http://jasanoko.or.jp/link-up.html>

➤ 上記以外は救急センター対応

0283-22-5222 (代表)

病院機能評価審査結果について



本年度9月に受審いたしました、病院機能評価の審査の結果、「改善要望事項なし」の一発合格となりました。

地域医療連携室への評価に於きましても、連携登録医の先生方、スタッフの皆様方のご支援ご協力によるものであり、心より感謝申し上げます。

今後も良い連携が取れるよう、病院機能の向上に継続的に取り組んで参ります。ご指導のほど、よろしくお願いたします。

伊藤 裕教授が糖尿病・内分泌連携セミナーにご登壇



2020年12月15日（火）糖尿病・内分泌連携セミナー2020を開催いたしました。メタリックドミノの提唱者である慶應義塾大学医学部・腎臓内分泌代謝内科教授伊藤先生にご登壇いただき、オンラインでは、多数のご参加をいただきました。

前半は、新型コロナウイルス感染症が運動不足や過食をもたらすだけでなく、ホルモン系も狂わせ、メタリック症候群が増悪しているというお話でした。人間とは、人の間と書き、間を繋ぐ存在であり、五感で繋がっております。新型コロナウイルスはこの五感のうち、味覚・嗅覚・触覚を障害し、人間の本来の生活を脅かし、ホルモン系にも支障を来します。触覚は幸せホルモンのオキシトシンを分泌させます。今のAI時代に必要なのは、ロボットを用いることによる触れ合い、触覚の刺激であり、それがオキシトシンを刺激し、emotional Reality（空気感）をもたらす、それが New Normal であるという科学的、哲学的、社会的なメッセージでした。

後半は「腎臓と腸管の臓器連関」研究のパイオニアとして、腸内細菌に関する最近の研究室の成績など、大変示唆に富む、蘊蓄のあるすばらしい内容でした。

特別講演

『WITHコロナ時代の
メタリックドミノ医療の
New Normal』

慶應義塾大学医学部
内科学教室
腎臓内分泌代謝内科
教授 伊藤 裕先生

在宅看護専門看護師

専門看護師とは、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的とし、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族および集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた看護師です。



ちやもと ひろえ
茶本 啓恵

私は、在宅看護専門看護師・退院調整看護師として、患者支援センターに勤務しております。主な仕事内容は、患者さんや家族が安心して退院できるよう支援させていただくことです。患者さんが「住み慣れた地域で自分らしく生活できる」こと、また病気になってもできる範囲で「自立」できることを大切に活動しています。暮らし方や考え方は、千差万別です。そのような多様性を尊重し、患者さんと家族にとっての最善を一緒に考え、命と希望をつなぐ支援をしていきたいと思います。

患者さんと家族の生活を支えるためには、当院だけでなく地域の開業医の皆様や調剤薬局、訪問看護ステーション、包括支援センター、居宅介護支援事業所等の多くの皆様との協働が必要不可欠です。地域の皆様との連携がより一層強固なものとなるよう、貢献したいと考えております。引き続きのご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

院長がBS朝日テレビに登壇します

名医に
+++ 聞きたい
+++

～ヘルシー・ライフのすすめ～

【番組内容】
全国各地で活躍している名医に、健康に関するアドバイスを伺います！

佐野厚生総合病院 院長 / 村上 円人
聞き手 / 内田 恭子

3月13日(土)

あさ7時55分～ 放送



「健康寿命をのばすリハビリテーション栄養」のテーマ。

病院主導で耳鼻咽喉科の大久保先生の指導のもと看護部・NSTが中心に取り組んでおります “リハビリ後30分以内にBCAAというアミノ酸を摂取すると筋肉が元気になり健康寿命をのばせる” というお話です。

救急車譲渡

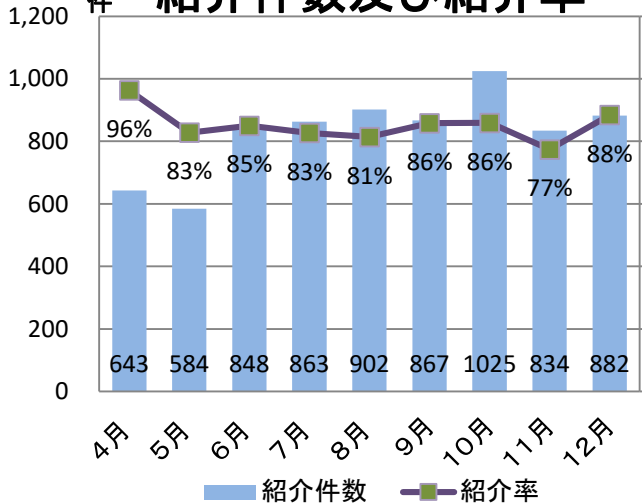


当院のDMAT指定病院の活動に対して、1月に佐野市消防本部から救急車の譲渡が決定しました。この度の救急車両譲渡につきましては、関係者の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、今後も栃木県DMAT指定病院として、佐野市消防のご指導のもと、災害医療に貢献できるよう訓練を重ねてまいります。

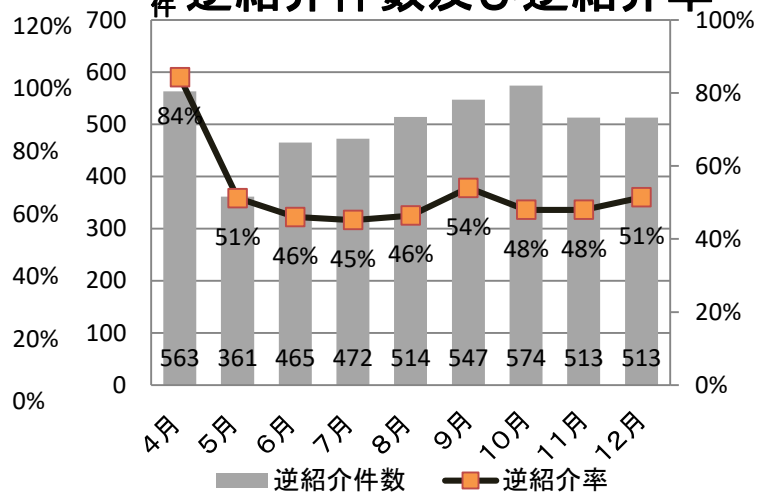
佐野市唯一の地域医療支援病院である当院は、連携登録医療機関の先生方や各関係者の皆様とともに、今後もしっかりと地域医療を守っていきたくと考えております。ご協力のほど宜しくお願い致します。

2020年度 月別紹介・逆紹介率

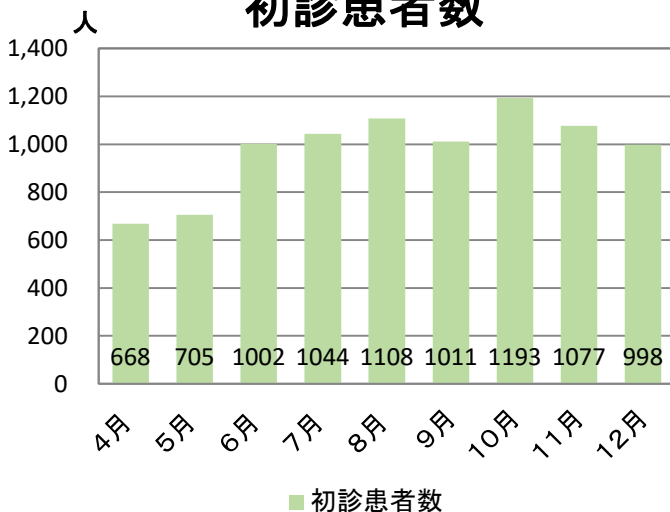
紹介件数及び紹介率



逆紹介件数及び逆紹介率



初診患者数



連携登録機関数

医療機関数		歯科医療機関数	
佐野地区	72	佐野地区	55
足利地区	40	足利地区	26
栃木・小山地区	27	栃木地区	1
館林・邑楽地区	47	館林・邑楽地区	—
太田	5	太田	—
合計	191	合計	82
2021年2月1日現在		273施設	

地域医療連携室から一言

新年明けましておめでとうございます。今年の年末年始は、例年通り親戚と集まることも出来ず、家族のみで過ごしたこともあり、実感がないまま過ぎてしまいました。普段の休日でも家で過ごす時間が多くなりましたが、昨年、野良の子猫を保護し、その子猫と元々いた犬と猫の世話に手を焼いています。大変な状況は変わりませんが、今後もよりよい連携が取れるよう努めて参りますので、本年も宜しくお願い致します。 T・U